



日本共産党市会議員

野口あけみ

活動だより

自宅 今津野田町

4-18

0798(34)7329

控室

0798(35)3368

2011.9 月

(No. 9 7)

市長「脱原発の判断は時期尚早」(6月議会)



「原発依存度を下げよう努めるべき」へと半歩前進

9月議会 一般質問

私、野口あけみは9日、市長に対する一般質問に立ち、①原発事故による食品汚染について、②改定介護保険について、③JR甲子園口駅南北駅前広場等、整備についての3点をとりあげ、たどしました。

原発事故はいまだ収束せず、周辺住民ばかりでなく、放射能による食品汚染の拡大で、国民を不安におとしめています。

6月議会で市長は、「脱原発の判断は時期尚早」と答えましたが、現時点での見解を聞きました。

た。セシウム汚染牛肉問題が西宮でも起きたことなどを受け、市長は「安全性が危惧される原子力発電は、その依存度を下げるとともに、環境に配慮しつつ新しいエネルギーの開発に努める必要がある」と答弁、少し前進しました。

放射能簡易測定器で 学校・保育所給食検査へ

国は食品における放射性物質の暫定規制値を決め、出荷制限を指示された県、隣接県で食品の検査を実施し、「暫定規制値」を上回る食品については、流通・販売を行ってはならないと規制しています。このことから、「現在流通している食品は安全」というのが市の見解です。

報提供を国に求めるよう追及。特に牛肉の全頭調査(現状は地域によつて農家当たり1頭以上の全戸検査)を求めました。

私は、これらが信頼できるものかが問題として、検体をできるだけ広げることや、正確な情

また放射能の影響を受けやすい子どもたちの学校・保育所給食について質問。市は、ホームページで食材の産地を公表するとともに、補正予算で購入する放射能簡易測定器で、安全性に懸念のある食材を検査することも検討したい、と答弁しました。